

顎

肩こり

頭痛

こんな方は
ご相談
ください

—— 咬筋ボツリヌス治療の効果 ——

顎関節症の緩和（顎が鳴る・口が大きく開かない・顎が痛む）

就寝中の歯ぎしりの緩和

歯ぎしりによる歯の磨滅（すり減る）抑制

咬合圧による脱離、破損防止

食いしばりの緩和

食いしばりで起こる肩こり、頭痛などの改善

【その他】 ガミースマイル改善、口角挙上など

診療前の簡単10秒 咬筋Check!

- 1 力を抜いて、エラの部分に手を当てます。
- 2 奥歯でグッと強く噛みしめます。
（2, 3回繰り返してみてください。）
- 3 噛みしめて動く筋肉が咬筋です。
- 4 噛みしめた咬筋が硬い（強い）なと感じたら、
ご相談ください。



咬筋の強さレベルが分からない方はご相談ください！

歯ぎしり・食いしばり・顎関節症

咬筋ボツリヌス治療



20年、30年後の
自分の歯を
守るために
ご相談ください！

*このような方は…

セラミック (白い歯)	補綴物 (銀歯など)	インプラント
神経治療	知覚過敏	顎関節症

上記治療を受けたことのある方は、
咬筋力のチェックをお勧めします。

*症例写真

歯ぎしり、食いしばりがひどかった為、
咬筋にボツリヌス注射を注入。
咬筋の緊張が取れ、症状が緩和。
食いしばりによる肩こり、頭痛なども改善。

治療前



治療後 2 か月



治療後 8 か月



※ボツリヌス治療の有効性は、歯科学会でも発表されている治療です

咬筋ボツリヌス治療とは

ボツリヌストキシンから抽出されるタンパク質を、咬筋に注入することで緊張をほぐす治療です。
その結果、咬筋肥大による下記の原因を改善することが出来ます。また、顎関節症の治療にも使用されています。

歯ぎしり 食いしばり 顎の痛み 歯やマウスピースが割れる 頭痛 肩こり 首こり 顎関節症

*咬筋とは…

エラの部分にある咀嚼筋の1つで、食事をする時に使う大切な筋肉です。
咬筋が必要以上に強くなることを咬筋肥大といいます。

*咬筋が肥大すると…

歯ぎしりや食いしばりなどが原因で咬筋が肥大することにより、
歯が欠ける、すり減る、マウスピースが割れるなどの悪影響を及ぼします。
中には、頭痛、肩こり、首こりなどの症状を訴える方もいらっしゃいます。

咬筋の強さは、他の人と比較が出来ないため自覚症状がない方がとても多いです。
簡単にチェック出来ますので、ご相談ください。
歯科医院では口腔内を診察することにより、更に詳しく調べることが出来ます。



ボツリヌス治療 Q&A

1 ボツリヌスの安全性

ボツリヌス注入療法は、日本では、1996年に眼瞼痙攣、
2000年に片側顔面痙攣、2001年に痙攣性斜頸への治療
が厚生局の承認を受けてます。
美容医療では、しわ取りの治療、小顔治療として一般的
に使用されている治療方法です。
美容目的では 70 カ国以上で使用されており、日本の
歯科領域では、2011 年頃から導入されてます。

2 適用範囲について

咬筋・オトガイ筋(うめぼしジワ)・ガミースマイル・
口角挙上
※施設によって治療範囲は異なります。

3 治療時間について

15 分程度で終了します。
(表面麻酔をする場合は、40 分程度)

4 ダウンタイムについて

特にありませんので、すぐに日常生活に戻ることが
できます。

5 副作用について

治療後数日は重たい感覚が残る場合があります。

6 効果の持続について

持続効果はおおよそ 3～6 カ月です。
※持続効果には個人差があります。

7 保険適用について

保険適用外となります。

※ボツリヌスタンパクは完全無毒化されているため、
人体への影響はありません。

歯ぎしり・食いしばり・顎関節症

咬筋ボツリヌス治療

こんな方はご相談ください

・顎関節症の緩和（顎が鳴る・口が大きく開かない・顎が痛む）

・就寝中の歯ぎしりの緩和

・歯ぎしりによる歯の磨滅（擦り減り）抑制

・咬合圧による脱離、破損防止

・食いしばりの緩和

・食いしばりで起こる肩こり、頭痛などの改善

・その他 ガミースマイル改善、口角挙上など



咬筋

*咬筋肥大とは…

咬筋とは食物を咀嚼する時に使われる筋肉で、かみしめ癖などの食いしばりなどが原因となり、この咬筋が必要以上に発達し肥大（膨張）している状態を咬筋肥大といいます。

咬筋が肥大することにより、顎の痛み、血行不良、ストレス、頭痛、肩こり、エラ張り、むくみなどの原因になる可能性があります。

顎



肩こり



頭痛



*ボツリヌストキシン治療は歯科学会でも発表されている治療です。（日本補綴歯科学会・日本顎関節学会など）

* 症例写真

歯ぎしり、食いしばりが強かった為、咬筋にボツリヌス注射を注入。
咬筋の緊張が取れ、症状が緩和。食いしばりによる肩こり、頭痛なども
ひどかったが、こちらも改善している。

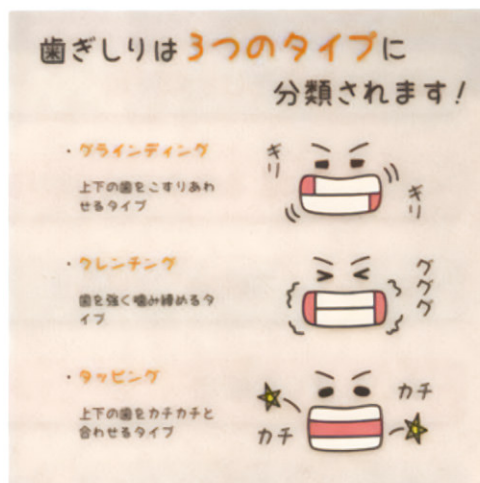
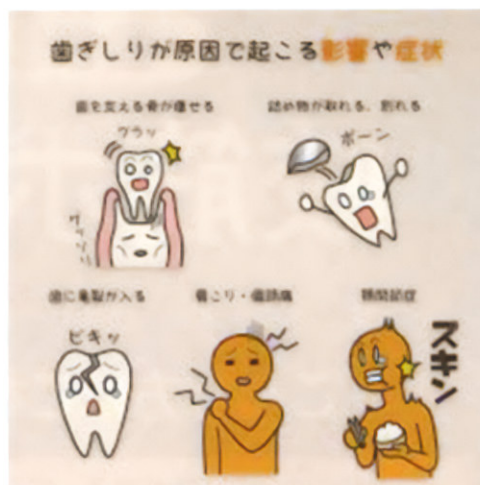
術前



術後 2 か月



術後 8 か月



* ボツリヌストキシン注入とは Q & A

【ボツリヌストキシンとは】

ボツリヌス菌から抽出されるたんぱく質の一種を過度に緊張している筋肉に注射することで、一時的に緊張をほぐす注射です。
その結果、歯ぎしり、食いしばり、顎関節症などの治療に使用されています。
緊張した筋肉（エラ）が弛緩することで、食いしばりによる肩こりなどの緩和にもなります。
また、ガミースマイルの矯正にも使用することが出来ます。

【ボツリヌストキシンの安全性】

ボツリヌストキシン注入療法は、日本では、1996年に眼瞼痙攣、2000年に片側顔面痙攣、2001年に痙攣性斜頸への効能が厚生労働省の承認を受けている治療です。美容業界では、しわ取りの治療、小顔治療として一般的に使用されている治療方法です。美容目的では70カ国以上で使用されています。

【適用範囲について】

咬筋・オトガイ筋（うめぼしジワ）・ガミースマイル・口角挙上 ※ 歯科医院では、美容目的の施術は行えません。

【治療時間について】

15分程度で終了します。（表面麻酔をする場合は、40分程度）

【効果の持続について】

3か月～6か月程度の効果があります。

【ダウンタイムについて】

特にありませんので、すぐに日常生活に戻ることができます。

【保険適用について】

保険適用外となります。

【副作用について】

治療後数日は重たい感覚が残る場合があります。

※ ボツリヌスタンパクは完全無毒化されているため、人体への影響はありません。